

東京都手話言語条例 可決成立！

暑中お見舞い申し上げます。

6月15日、令和4年度第2期東京都議会本会議において『東京都手話言語条例』が全会一致で可決・成立しました。

昨年、都議会史上画期的な超党派の議員提案条例策定ワーキングチームが発足。当事者の意見も聞き、実効性のある条例案をまとめられました。議員126人全員の共同提案という都議会史上初の条例制定となりました。

条例の前文では、「手話は独自の文法を持つ一つの言語であって、豊かな人間性を涵養（かんよう：水がしみこむように自然にはぐくむ）し、知的かつ心豊かな生活を送るための言語活動の文化的所産」と述べられています。

東京都では2018年に『障害者差別解消条例』が施行されています。この条例には『手話は一つの言語』としてその普及に取り組むことと明記されました。しかし、昨年夏の東京五輪の開会式、テレビ放映に手話通訳がつかなかったことは、皆さんもご存じでしょう。このことが条例制定の必要性を都議会が理解するきっかけとなりました。

施行は9月1日。どんな具体的な取り組みになるのか、注目ですね。

手話サークルもみじ 今後の予定

- 日時：7月14日（木）10時～12時
福祉センター 2階作業療法室
- 日時：7月21日（木）10時～12時
福祉センター 2階研修室
- 日時：7月28日（木）10時～12時
福祉センター 2階研修室
『粘土で作ろう』
- 日時：8月18日（木）夏期顔合わせ
福祉センター 2階作業療法室

今後、政府の発令などにより活動が変更する場合があります。メルマガやメールでご確認ください。

※お問い合わせ shuwamomiji30@yahoo.co.jp

役員より

パソコンが苦手！なんてもう言っていられず、シルバー人材センター主催の「市民パソコン体験講習会」に参加しました。2週に分けてエクセル2時間、ワード2時間。生徒3人に対して講師が2人の体制で基礎を学び、最後に簡単なお知らせチラシの作成をして終了。手取り足取りの指導のもと、どうにか仕上がったチラシを一人一人貰い、まるで卒業証書のように大切に手元に持って拍手！拍手！ドキドキながら楽しい時間を過ごしました。（N）

今回のメルマガは2ページまであります！

ちょっと聞いて～・・・

「死語ですね？」

最近、聞いたことのない言葉が世間にあふれています。新しい言葉って使いたくなるけど、

どうもしっくりこないものです。言いやすかったり、使うタイミングの多い言葉はいつの間にか自分の言葉になっていたりしますね。

「ツインパンデミック」先日、小池都知事がさらっと会見でお話しされていました。「新型コロナウイルス感染症」と「インフルエンザ」の同時流行のことだそうです。カタカナ語にするとかっこいいものを感じてしましますが、とんでもありません！！ 「ツインパンデミック」にならないように今まで以上に感染予防に気を付けて生活していきたいと思いました。



さて、ちょっと前ですが、職場で仕事の手順など大事なことを書き留めているメモ帳を持ち場に忘れてしまいました。まだ仕事上のAさんに



私 : ごめんね～、そこのアンチョコ忘れちゃった～

Aさん : ??? なんです、アンチョコって???

私 : ??? (なぜわからないのかな～) その緑色のメモ帳よ～

Aさん : これですか? アンチョコってなに? カンペ (カンニングペーパー) のことですね。

と手渡されました。「アンチョコ」が通じない・・・もはや40代のAさんには通じない。では、もう少し年下の30代娘に聞いてみた。(娘にだったら分かるはずと信じて疑わず笑)

私 : アンチョコってなんだかわかる?

娘 : アンチョコ? あんことチョコでしょ? (母さん、なに言ってるの??)

私 : ガ～～ン (これも古い) ちがうけど、いいわっ(-_-)



やはりムリだった。50代前半はかろうじて理解できるけど使っていない様子。

「死語」いやな言い方ですが、言葉は生き物ですから、そんなものなのでしょうね。

切ないな～ (泣)

ちなみに検索してみると「アンチョコ」は「安直」が変化した言葉となっており、教科書を分かりやすく解説した参考書のことです。

手話で「アンチョコ」という言葉はないかもしれません。聞こえない人にどうやってこのことを伝えたらいいかな? どう表現しよう、できるかな?? なんて考えれば不安ばかりが募ります。でも、いつものサークルの時に聞こえない人とのお付き合いの中での様々な表現を思い出して自分のできる精一杯で伝えてみようと思います。

